

2023年8月21日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗



大会マスコット「ぐりぶー」

特別全国障害者スポーツ大会 「燃ゆる感動かごしま大会」に特別協賛

<大同生命の社会貢献活動>

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）は、本年10月28日（土）～30日（月）に鹿児島県で開催される特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に特別協賛します。

本日、鹿児島県庁（鹿児島市）にて、当社社長の北原睦朗より、本大会の実行委員会会長である塩田康一鹿児島県知事に特別協賛金の目録を贈呈いたしました。

当社は創業90周年（1992年）を機に、同大会の前身である全国知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック）の第1回東京大会から、30年以上にわたり特別協賛を継続しています。また、これまでに、のべ1万1千人を超える役職員等がボランティアとして大会に参加するなど、全社を挙げて「障がい者スポーツの支援」に取り組んでまいりました。

大会の開催期間中は、当社の鹿児島県内支社はもとより、近隣の支社や東京本社の役職員等がボランティアとして参加し、大会の盛り上げに協力してまいります。

<協賛・協力内容>

- 大会への特別協賛金として1億円を贈呈。
- 当社およびグループ会社・提携団体の役職員等、のべ約250名（予定）が大会の盛り上げに協力。
 - ・白波スタジアム（県立鴨池公園陸上競技場）の「ぐりぶー広場」に設置する「大同生命ブース」の運営ボランティアとして、全国から集まった選手や応援サポートの皆さんと、ゲームやイベントを通じて交流できる「おもてなしの場」を提供。
 - ・式典の観覧や競技の観戦を通じて、選手の皆さんを応援。



【参考1】全国障害者スポーツ大会とは



大会マスコット
「ぐりぶー」

- ・障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした国内最大の障がい者スポーツの祭典であり、日本パラスポーツ協会、文部科学省、開催都道府県などが主催しています。
- ・今年は、10月28日（土）～30日（月）の3日間、鹿児島県で「燃ゆる感動かごしま大会」の愛称のもと開催されます。

【参考2】ボランティア参加実績 → のべ11,562名（1992年～2022年）

		開催年	開催地	ボランティア参加人数
（ゆうあいピック） 全国的障害者 スポーツ大会	第1回	1992年	東京	300名
	第2回	1993年	熊本	304名
	第3回	1994年	群馬	504名
	第4回	1995年	兵庫	阪神・淡路大震災のため大会中止
	第5回	1996年	北海道	448名
	第6回	1997年	愛知・名古屋	950名
	第7回	1998年	茨城	900名
	第8回	1999年	島根	337名
	第9回	2000年	岐阜	1,043名
全国障害者 スポーツ大会	第1回	2001年	宮城	430名
	第2回	2002年	高知	291名
	第3回	2003年	静岡	413名
	第4回	2004年	埼玉	292名
	第5回	2005年	岡山	286名
	第6回	2006年	兵庫	317名
	第7回	2007年	秋田	200名
	第8回	2008年	大分	185名
	第9回	2009年	新潟	204名
	第10回	2010年	千葉	320名
	第11回	2011年	山口	191名
	第12回	2012年	岐阜	206名
	第13回	2013年	東京	1,001名
	第14回	2014年	長崎	238名
	第15回	2015年	和歌山	655名
	第16回	2016年	岩手	314名
	第17回	2017年	愛媛	333名
	第18回	2018年	福井	358名
	第19回	2019年	茨城	大会中止（台風19号）
	第20回	2020年	鹿児島	大会延期（新型コロナ）
	第21回	2021年	三重	大会中止（新型コロナ）
	第22回	2022年	栃木	542名
特別	2023年	鹿児島	250名（予定）	

【参考3】 その他「障がい者スポーツの支援」に向けた取組み

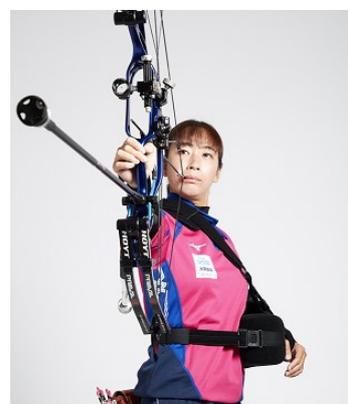
1. JPSAオフィシャルパートナーとしての活動

- ・ 当社は、2015年1月に公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（現：公益財団法人日本パラスポーツ協会、略称：JPSA）とオフィシャルパートナー契約を締結しました。
- ・ 以後、同協会が主催する「ジャパンパラ競技大会」等の競技観戦や大会運営ボランティアへの参加を通じて、同協会の取組みを積極的にサポートしています。



2. 従業員パラアスリートの活動支援

- ・ 当社は、2017年2月にパラアーチェリー選手の永野美穂を採用しました。
- ・ 永野はこれまで国内外のパラアーチェリー大会で数々の実績を残し、ロンドン2012パラリンピック、東京2020パラリンピックに出場しました。（ロンドン大会は5位入賞）
- ・ 当社は従業員パラアスリートの競技活動を全面的にバックアップすることで、「障がい者スポーツのさらなる普及・発展」に努めるとともに、全社をあげて「ともに働く仲間」の活躍を応援しています。



以 上